

学 校 便 り



<http://www.katsushika-sh.metro.tokyo.jp>

あきらめずに！トライ！挑戦する年に！

校長 山崎 久美

令和4年に入り、早いもので間もなく、ひと月が過ぎようとしています。1年の12分の1が終わると思うと本当に、時の経つ早さを痛感いたします。まとめの学期、残りの日々の指導を大切に進めます。

さて、心配されていた新型コロナウイルス感染症の第6波がオミクロン株により急拡大して、東京都は、1月21日から、まん延防止等重点措置が適用されることになりました。これに伴い、校外に出かける行事につきましては、残念ながら中止または延期とし、行事ごとにお知らせを配布いたしました。進路見学、職場見学は、ねらいに沿った学習ができるように内容、方法を工夫して、後日、実施します。コロナの感染状況によって、これまで延期してきた1年生の校外学習はさらに延期、3年生の修学旅行は中止することになり、生徒たちが楽しみにしていただけに痛恨の極みです。特に3年生については、最後の思い出作りを予定していただけに、生徒たちの気持ちを思うと辛い思いでいっぱいになります。感染状況を踏まえ、教職員で知恵を絞って、代替の活動を考え思い出作りをしていきます。

校内の行事としては、主権者教育の一環でもある生徒会選挙やがん教育(3年C 課程)を実施しました。「がん教育」は、健康に関する基礎的な素養として身に付けておくべきものとして進められています。外部講師として、NPO 法人がんノート代表理事の岸田徹(きしだとおる)様をお招きし、お話をいただきました。大阪出身の岸田さんは、柔らかい口調で、ご自身の患者としての経験を人権に配慮しながら、漫画などの映像を用いて、分かりやすく生徒たちに話してくれました。大病を経て「自分のやりたいことを大切に誰かの役に立ちたい」と今の活動を続け、この活動の中で出会ったがん経験者の「幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せ」という言葉を胸に刻んで生活しているそうです。皆さんも、ぜひ笑顔で過ごしてくださいとメッセージをくれました。生徒たちは、集中して話に聞き入っており、心に響く内容で、貴重な学習となりました。

写真は、本校玄関に咲く菜の花です。「冬来たりなば春遠からじ」というように、ここを抜ければ温かい春、そして制限の少ない日々が、きっとやってきます。始業式に「令和4年は寅年です。何事もあきらめずに、様々なことにトライして行ってほしいと生徒たちに話しました。教職員も子供たちの学びを充実させるために、誠心誠意尽くしてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



令和3年度 3学期を迎えて

副校長 今野 昌人

少し長い冬休みを終えて3学期がスタートしました。生徒たちはそれぞれに目標を立て、学習に取り組んでいます。1月17日にリモートでの全校集会があり、副校長からのお話をしました。1年生には、4月からは先輩になるので、来年度入学してくる新1年生の手本となるように、これまで学んだことを振り返り取り組んで欲しいと伝えました。2年生には、校内実習やトライアウトで学んだことを確かなものにして、3年生になる準備をしてくださいと伝えました。3年生には、4月から葛飾特別支援学校を卒業し、一人一人が自分の進路を歩み出すので3学期はとても大切な時間であること、また、基本的な生活リズムをしっかりと整え4月からの新たなスタートに向けて備えるよう伝えました。友達や先生と過ごす卒業までの限られた時間なので、一日一日を大切に過ごして欲しいと思います。

2月の9日、14日、15日に本校の卒業生を迎え各学年で卒業生講話を予定しています。進路先のことや卒業後の生活など、進路について身近な話として聞くことができます。生徒自身が自分の進路を考え目標をもって取り組めるように、また、卒業後の生活に見通しがもてるような機会にしたいと思います。現在、新型コロナウイルス感染症の急拡大が続いておりますが、学校でもこれまで以上に感染予防対策を徹底し教育活動を継続してまいります。御家庭においても、感染対策を継続していただくとともに、体調に変化がございましたら無理をせず学校を休むよう御協力をお願いいたします。